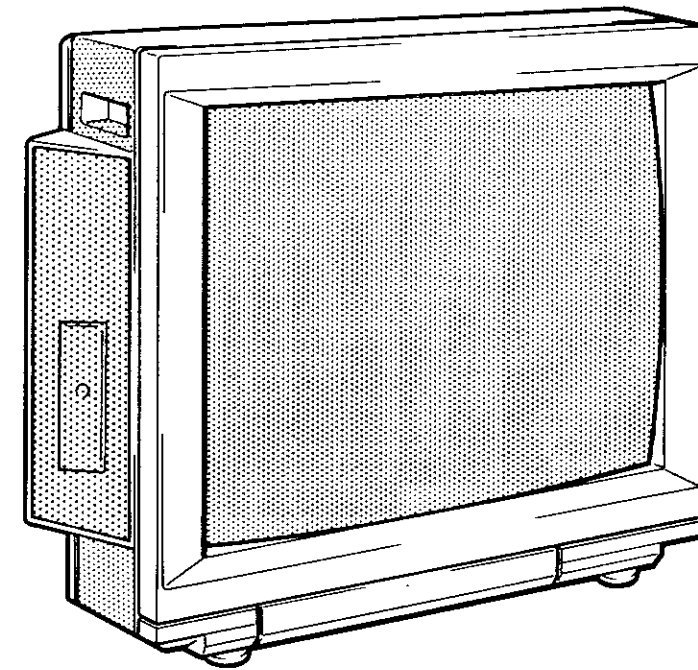
●取扱説明書

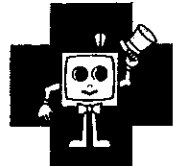
HITACHI

日立カラーテレビ

C25-ST3/C25-ST3-1

このたびは日立カラーテレビをお求めいただき，まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」と別冊の「使用上のご注意」をよくお読みになり，正しくご使用ください。
なお，お読みになった後は，保証書，日立家電品ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。

高画質 ●HSブラウン管 ●ノイズリダクション回路採用

高音質 ●マトリックスサラウンドシステム

高機能 ●AVコーディネイトの調節 ●BSコントロール端子……など

目　次

ちょっとした心づかいで
テレビの安全

●購入店名などを記入しておきますと，アフターサービスのとき便利です。

購入店名	電話（　　）
購入年月日	年　　月　　日
●万一故障などでアフターサービスをお申しつけのときは，右の内容をお知らせください。	形名＝(テレビ本体) C25-ST3/C25-ST3-1 (リモコン) C-F10 症状＝できるだけ詳しく 道順＝付近の目印も

株式会社 日 立 家 電
〒105 東京都港区西新橋2―15―12
電話(03)3502-2111

株式会社 日立製作所
〒105 東京都港区西新橋2―15―12
電話(03)3502-2111

1919113　　Printed in Japan KM R(H)

各部の名称

●内の数字は詳しい説明のあるページです

5 電源スイッチ

4 リモコン受信窓

5 スタンバイランプ

5 選局ボタン

5 音量ボタン

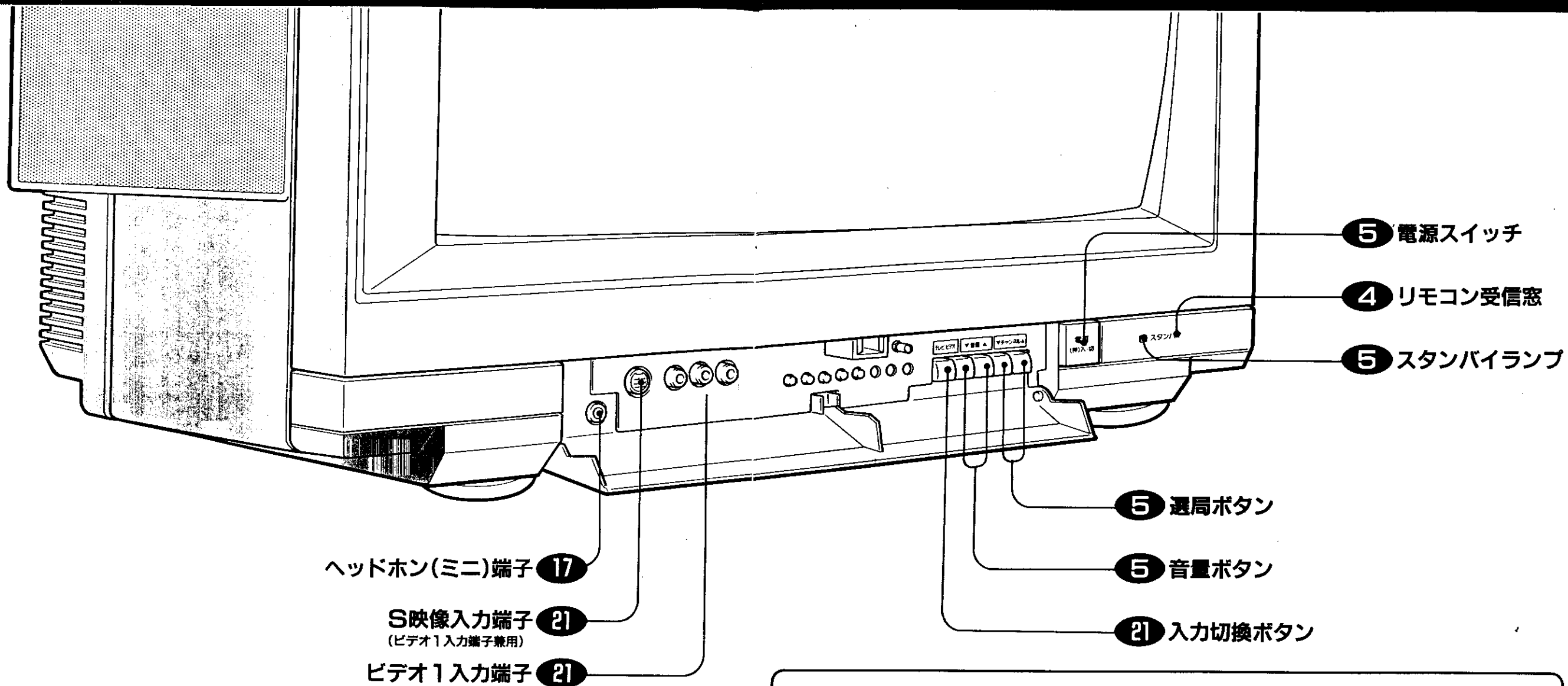
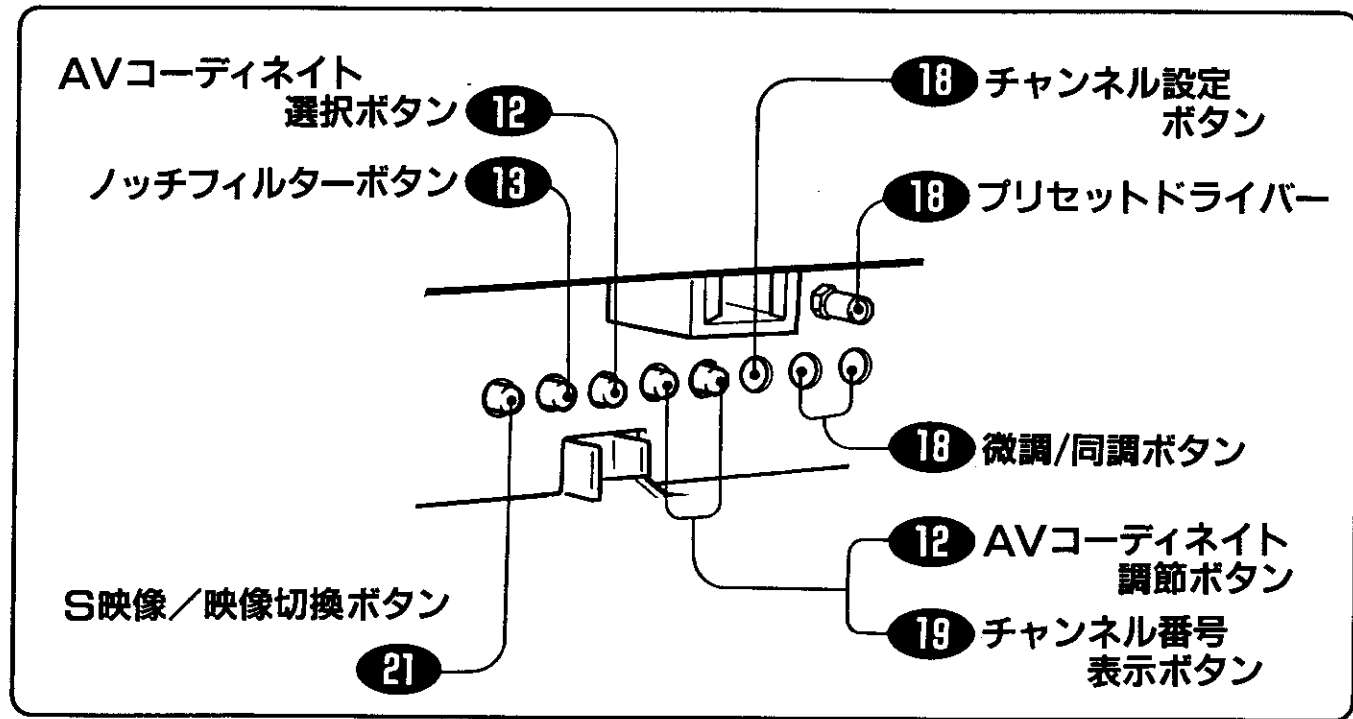
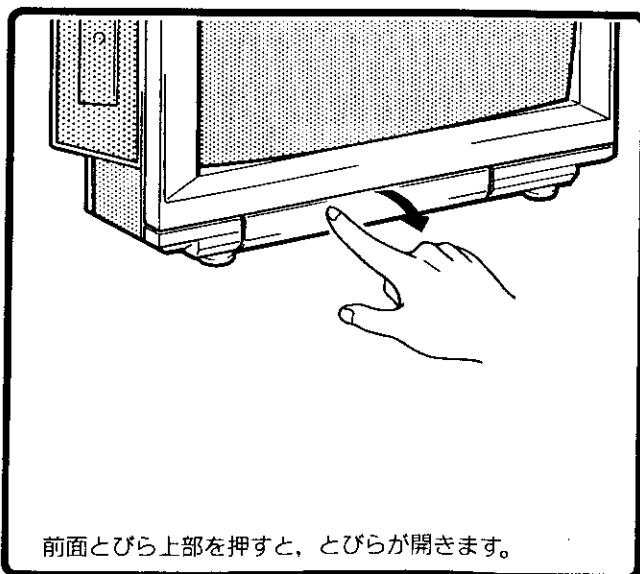
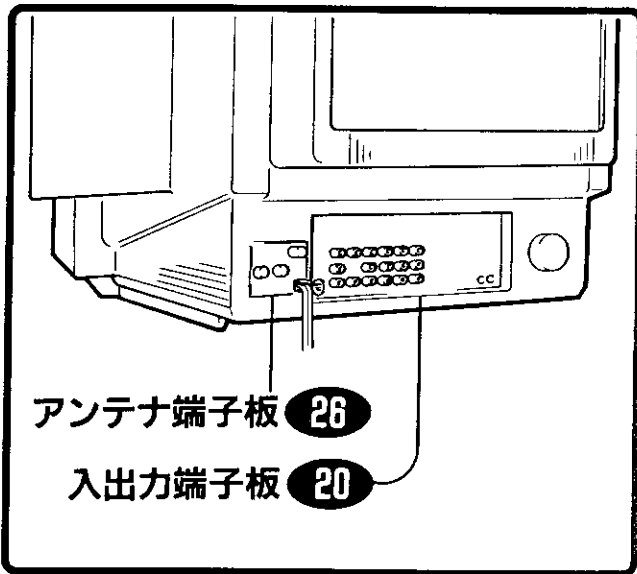
21 入力切換ボタン

ヘッドホン(ミニ)端子 17

S映像入力端子 21
(ビデオ1入力端子兼用)

ビデオ1入力端子 21

後面

前面とびら上部を押すと、とびらが開きます。

各部の名称 リモコン送信機

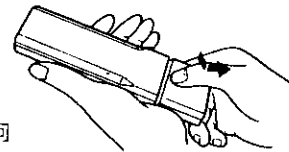
⬬内の数字は詳しい説明のあるページです。

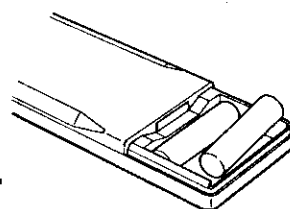
リモコン送信機に水やコーヒー，ジュース等の液体をかけたり，滴下させないでください。内部に液体が入ると，リモコン送信機での操作がしにくくなる場合があります。

乾電池の入れかた

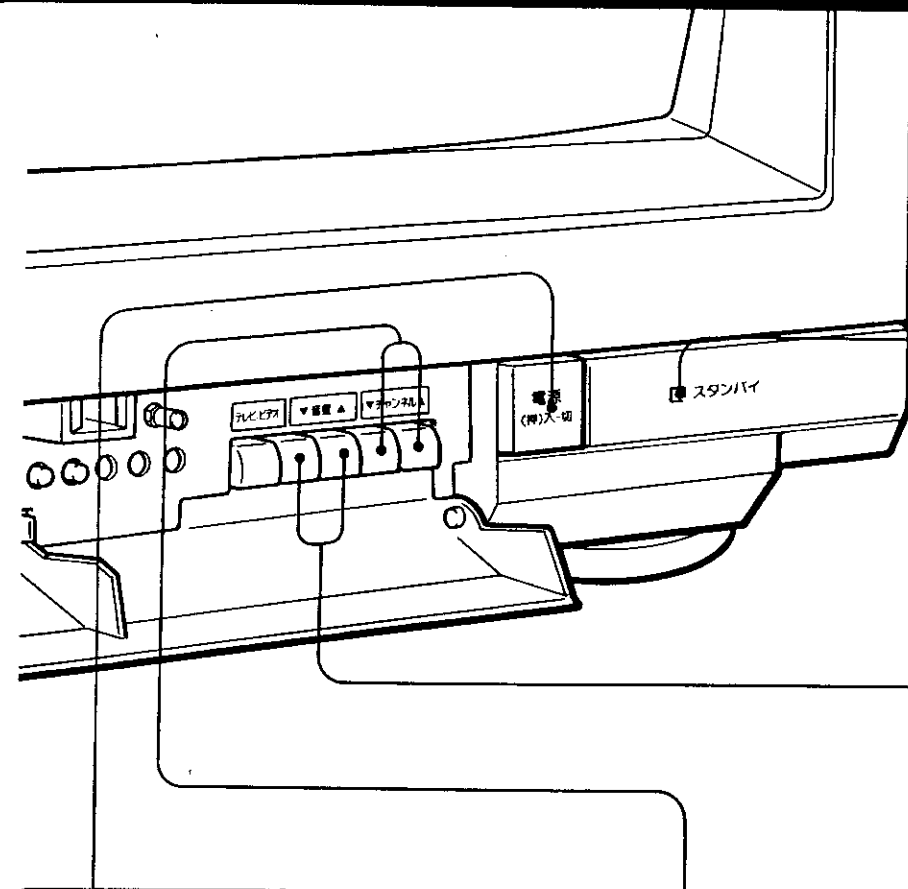
付属の単3形乾電池をリモコンに入れます。

1 電池ぶたをはずします

電池ぶたを押して，矢印の方向にずらします。

2 乾電池を入れます

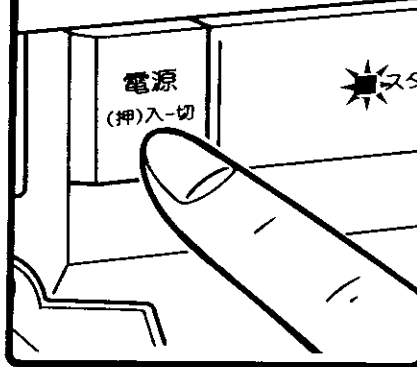
⊕，⊖の表示どおりに入れ，ふたをしめます。

乾電池について

●乾電池の誤った使い方は，液漏れや，破裂の危険につながりますのでご注意ください。
●新しい乾電池と古い乾電池，種類の異なる乾電池（例えばマンガン乾電池とアルカリ乾電池）を混ぜて使用しないでください。
●長時間ご使用にならない場合は，乾電池をリモコンから取出しておいてください。
●リモコンの動作がしにくくなったら，乾電池を交換してください。

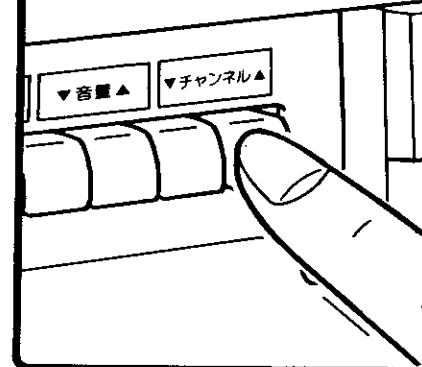
テレビをご覧になりたいとき テレビ本体での操作

スタンバイランプ

●ランプが消えているとき
電源スイッチを押すと，テレビ本体の電源が入ります。
●ランプが暗く点灯しているとき
（スタンバイ状態）
リモコンの電源ボタンで電源の「入」「切」ができます。

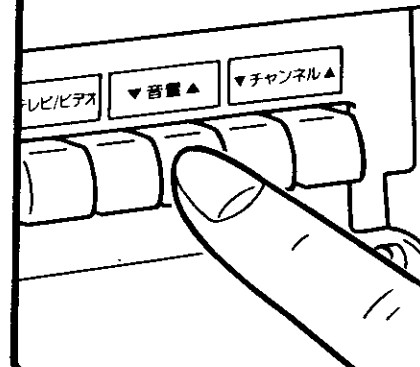
電源スイッチを押します

電源を入れます。

スタンバイランプが明るく点灯します。
一度押してスタンバイランプが消えたときは，もう一度押します。

選局ボタンを押します

ご希望のチャンネルを選びます。

△押す：1→2…12の方向に移ります。
▽押す：12→11…1の方向に移ります。

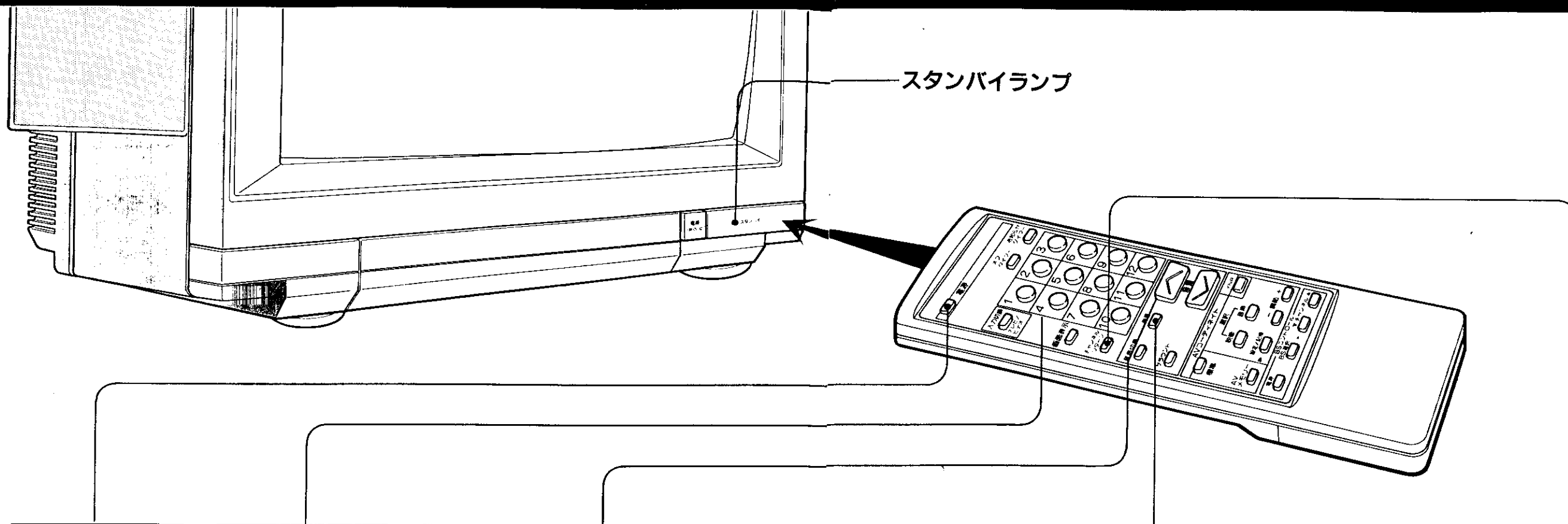
音量ボタンを押します

音量を調節します。

△押す：音が大きくなります。
▽押す：音が小さくなります。

こんなときは……

●スタンバイランプが消えているときは，本体の電源が切れていますので，本体の電源スイッチを押して電源を入れてください。
●テレビが動作中に停電になった場合，停電の回復とともに電源が入ります。テレビから離れるときは本体の電源スイッチを切っておいてください。

電源の切りかたは……

リモコンをご使用になる場合はリモコンの電源ボタンを押して切ると，スタンバイランプが暗く点灯します。
次回はリモコンで操作できます。

スタンバイランプ

電源ボタンを押します

電源を入れます。

スタンバイランプが明るく点灯します。
電源を切るときは，もう一度押します。

選局ボタンを押します

音量ボタンを押します

音量を調節します。

0（最小）
63（最大）

音量の変化が数字と□□□□□で画面に表示されます。
最小が0で最大が63です。

音を消したいとき 消音ボタンを押します

音が消えます。

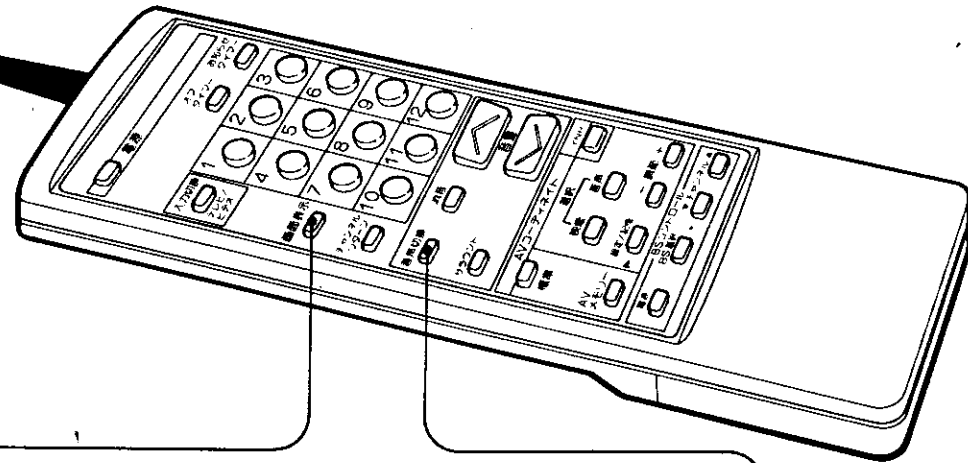
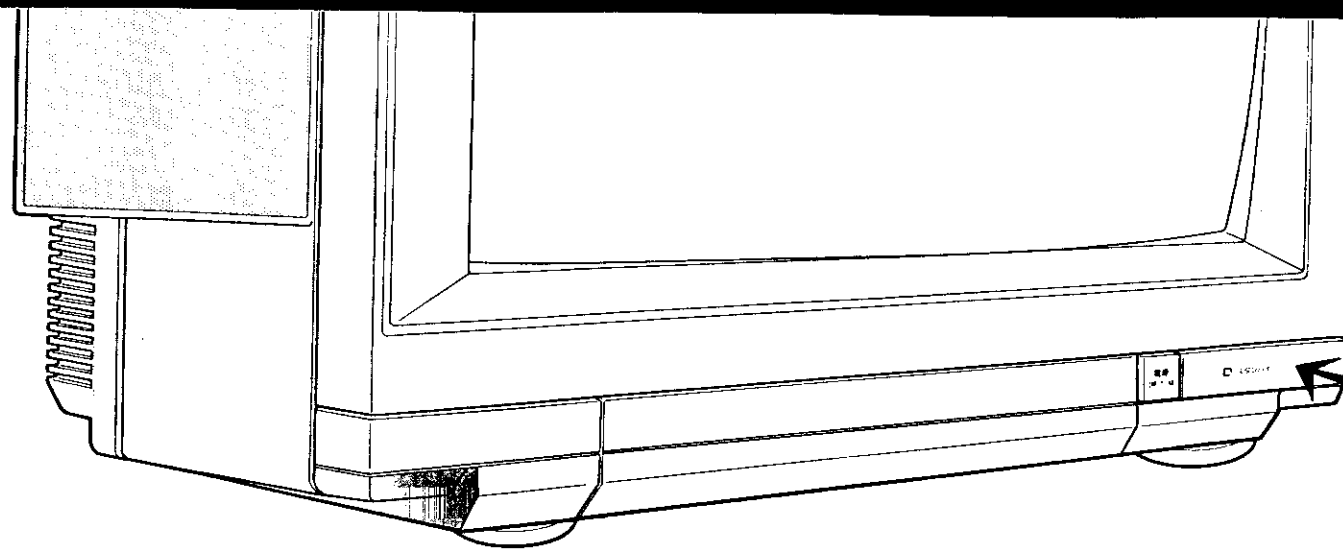
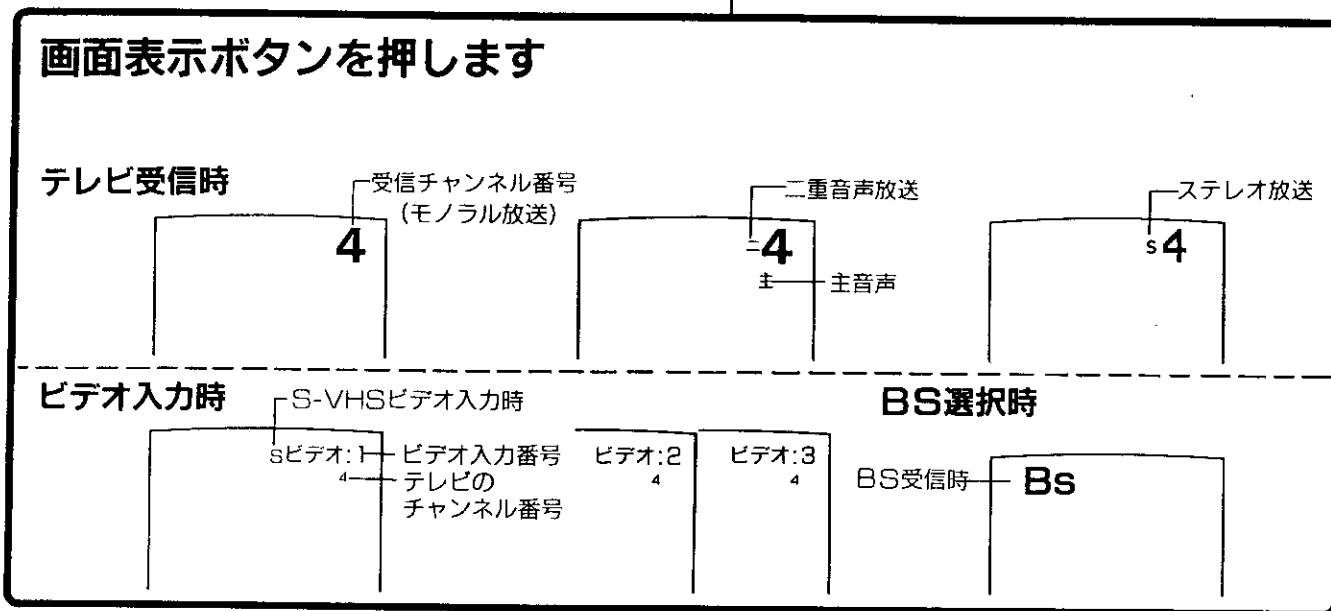
音量表示が赤紫色（マゼンタ）に変わり，もう一度押すともとの音量にもどります。
電話がかかってきたときや来客のときなど便利です。

2つの番組を交互に見たいとき チャンネルリターンボタンを押します

1つのボタンで2つの番組を交互に切換えて見ることができます。
ここでは4チャンネルと8チャンネルを交互に見たいときを例にして説明します。

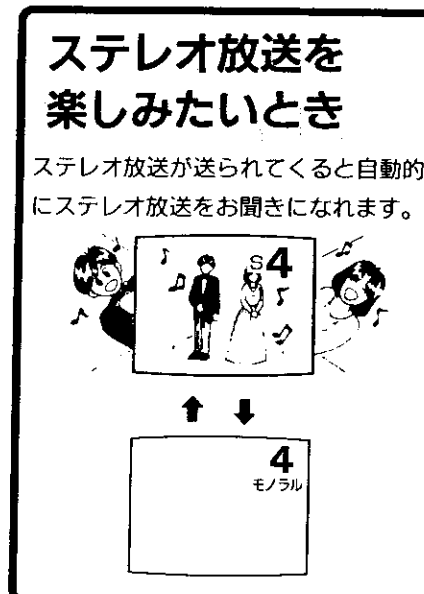
①ご希望の局のボタンを押します。→4
②もう1つのご希望の局のボタンを押します。→8
③チャンネルリターンボタンを押すたびに，現在見ている番組が前に見ていた番組に変わります。→8→4

（リモコンの操作は………）
●リモコンの操作はスタンバイランプが点灯しているときのみ可能です。
リモコンで動作しない場合は，本体の電源スイッチを押してください。
（5ページ参照）

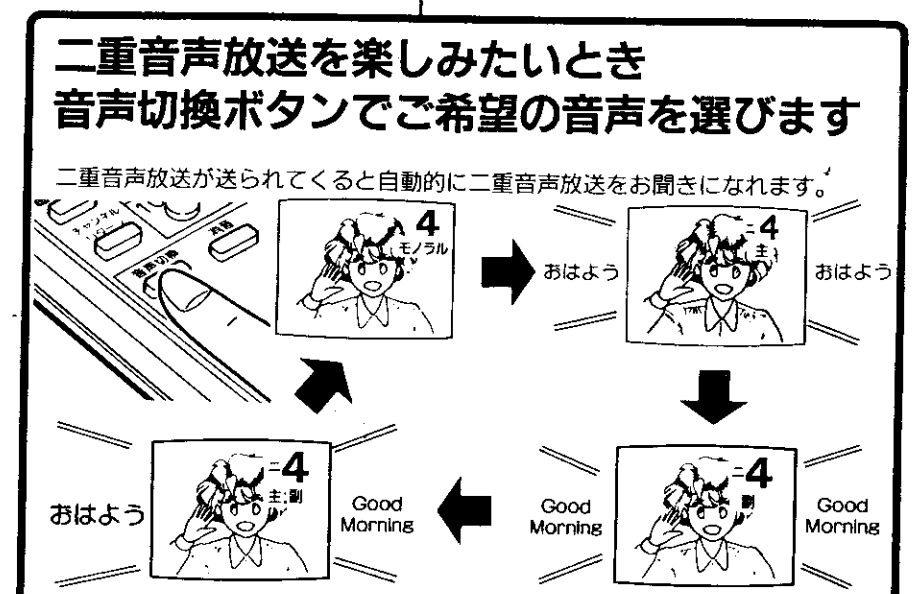
画面表示について（チャンネル番号,音声多重放送状態,入力切換の状態を確認したいとき）・・音声多重放送（ステレオ，二重音声放送）

主音声・副音声について
例えば洋画番組の2ヵ国語放送のとき，日本語に吹き替えて送られてくる音声を主音声，原語のままで送られてくる音声を副音声といいます。

画面表示ボタンを押します

約3秒後下図のように画面表示が小さく残ります。
消したいときは，もう一度画面表示ボタンを押します。

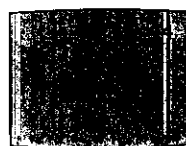
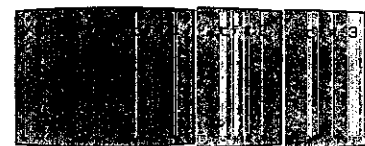
ステレオ放送を楽しみたいとき

ステレオ放送が送られてくると自動的にステレオ放送をお聞きになれます。

ステレオ受信時，音声切換ボタンを押すと上図のように音声の切換えができます。

二重音声放送を楽しみたいとき 音声切換ボタンでご希望の音声を選びます

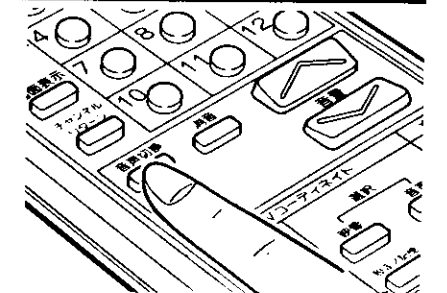
二重音声放送が送られてくると自動的に二重音声放送をお聞きになれます。

二重音声放送受信時，音声切換ボタンを押すと上図のように音声の切換えができます。この操作は二重音声放送受信時のみ可能です。
二重音声放送時，サラウンドボタンはオフの状態にしてください。

画面表示について

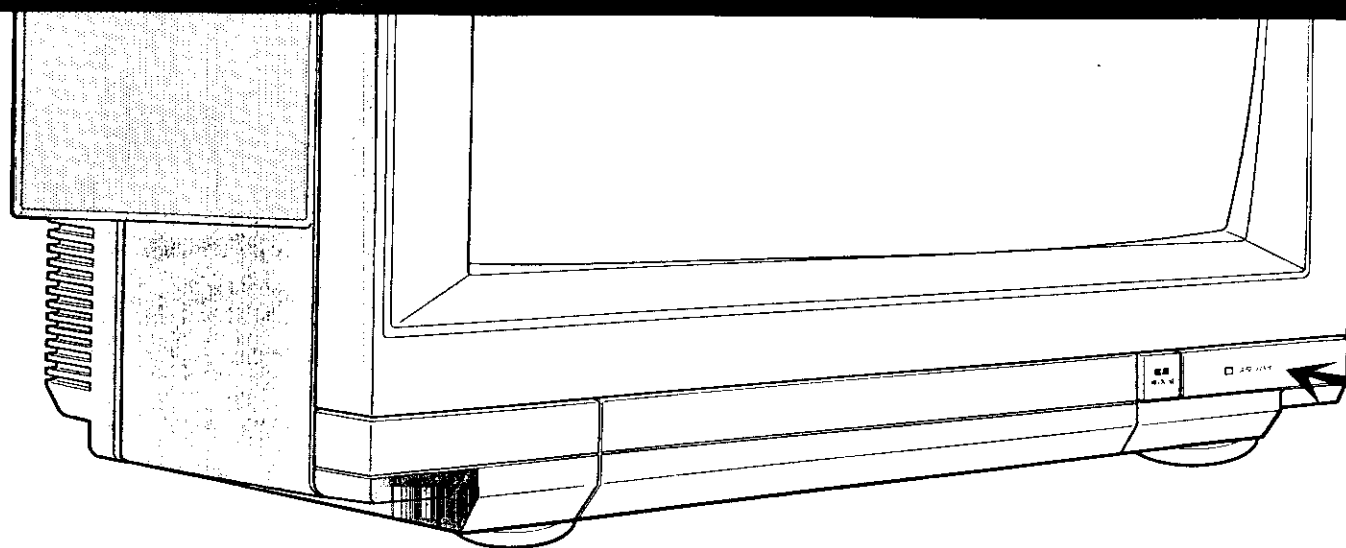
●画面表示をしている状態で放送内容（二重音声，ステレオ）が変わると，自動的に上図のような大きな文字表示がでて，再び小さな文字表示にもどります。

テレビ受信時

ビデオ入力時

モノラル放送で聞きたいとき

●電波が弱いとか，雑音が多いときにはモノラルのほうが聞きやすいことがあります。
モノラルに切換えるときは，音声切換ボタンを押してモノラルに切換えます。
このとき，チャンネル番号の下に右図のように「モノラル」の表示がでます。
●音声切換ボタンがモノラルになっていると，ステレオ，二重音声放送は受信されません。

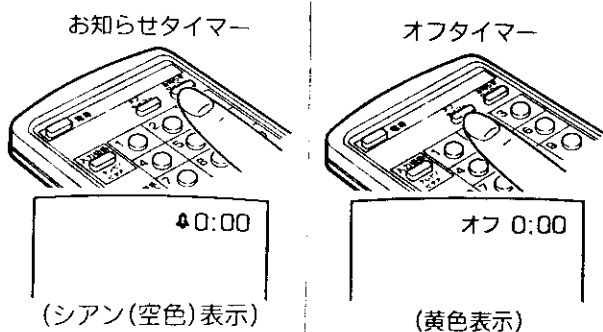
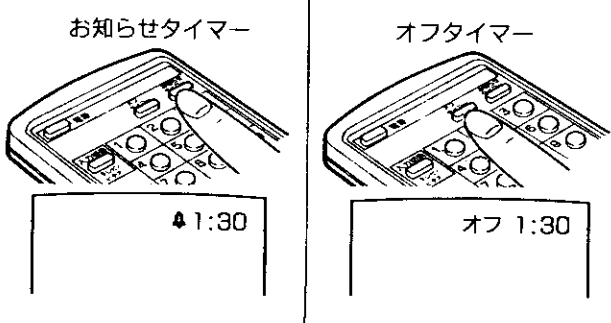
モノラル選択時の表示

便利な使いかた

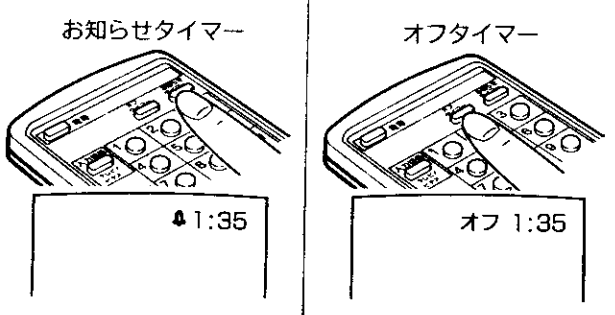
- お好みの時間に表示をしたいとき(お知らせタイマー)
- 自動的にテレビの電源を切りたいとき(オフタイマー)

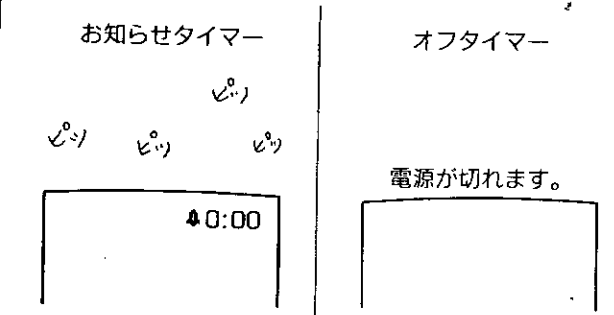
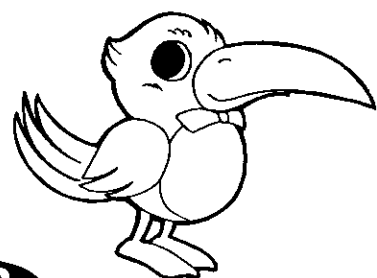
- お知らせタイマー，オフタイマーの設定時間の範囲は，1分~1時間59分(1分間隔)です。
- タイマー設定中，ボタンの操作は画面表示のある間（約3秒）に行ってください。途中で画面表示が消えた場合は，最初から設定しなおしてください。

お知らせタイマーは……
風呂の沸く時間，料理のできる時間や子供の送り迎えの時間などを知るときにご利用になると便利です。

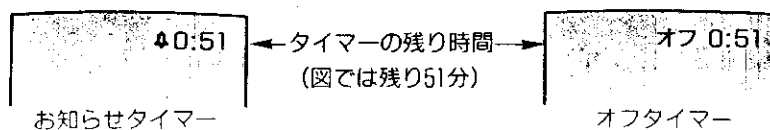
ここでは，1時間35分後にタイマーを設定する方法を例にして説明します。

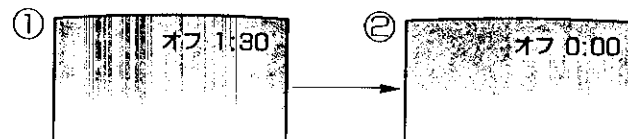
お知らせタイマーボタンかオフタイマーボタンを押します

(シアン(空色)表示)　(黄色表示)

再度ボタンを押して画面表示を1:30のところで止めます

ボタンを押したままにすると10分間隔で，時間表示が変わります。

ボタンをチョンチョンと押して画面表示を1:35のところで止めます

ボタンをチョン，チョンと押すと1分間隔で時間表示が変わります。
約3秒後に表示が消え，タイマー動作がスタートします。

設定時間になると……

(お知らせタイマー)10分前にピッという音がでて，表示とともにお知らせします。設定時間になるとピッピッピッピッと音が4回でて，表示とともにお知らせします。
(オフタイマー)10分前に表示がでます。設定時間になると電源が切れます。

お知らせタイマー・オフタイマーを確認したいとき

お知らせタイマーボタンあるいはオフタイマーボタンを押します。
画面に分単位で残り時間が表示されます。約3秒後に表示が消えます。
残り時間表示中にもう一度ボタンを押すと，表示が0：00となり，タイマーは解除されますのでご注意ください。

お知らせタイマー・オフタイマーを解除したいとき

① 解除したいタイマーのボタンを押します。
画面にタイマーの残り時間が表示されます。
② 残り時間表示中(約3秒)にもう一度同じボタンを押します。
③ 画面表示の残り時間が0：00となり，タイマーは解除されます。

お知らせタイマー，オフタイマーについて

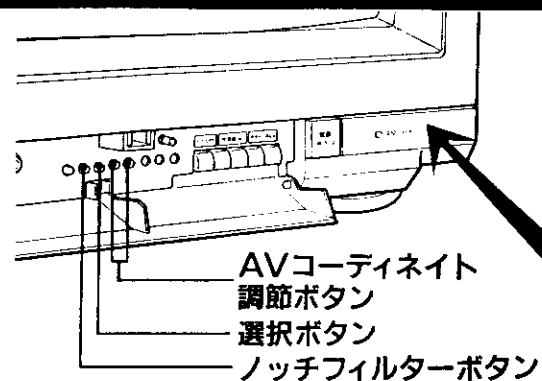
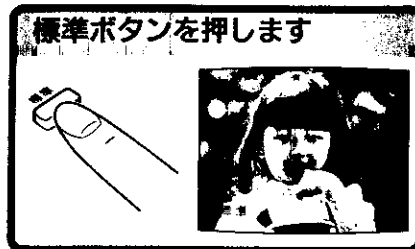
- お知らせタイマー，オフタイマーを同時設定したときは，オフタイマーが優先します。
- 電源を切るとタイマーは解除されます。
- お知らせタイマー，オフタイマーは多少の誤差が生じることがあります。
- お知らせタイマーの音は，左スピーカーより出力されます。

画像[ビジュアルコーディネイト]の調節（明るさ，色あい，色の濃さ 黒レベル，画質）

● 工場出荷時，標準のカラー画像にしてあります。

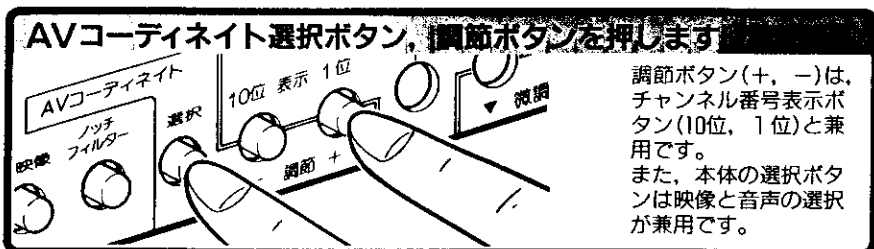
AVコーディネイト調節ボタン
選択ボタン
ノッチフィルターボタン

■リモコンの標準ボタンの使いかた

標準ボタンを押します

標準の画像にもどります。
（明るさは設定した状態のままで，標準にはもどりません。音声も標準状態になります。）

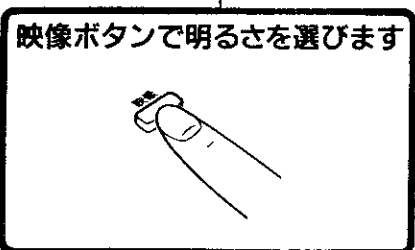
■本体での調節

AVコーディネイト選択ボタン，調節ボタンを押します

調節ボタン（＋，－）は，チャンネル番号表示ボタン（10位，1位）と兼用です。
また，本体の選択ボタンは映像と音声の選択が兼用です。

①調節したい画面表示を選択ボタンで選びます。②＋，－ボタンでお好みの画像に調節します。

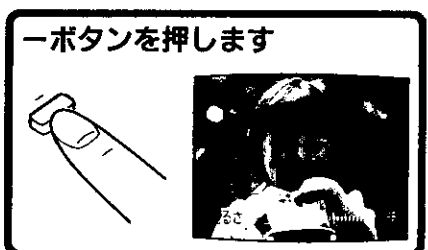
■リモコンでの調節

明るさ

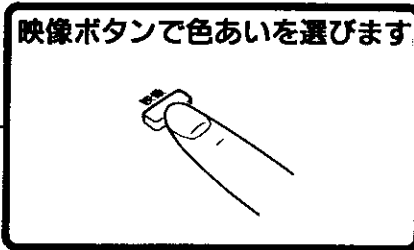
映像ボタンで明るさを選びます

画面に表示がでます。

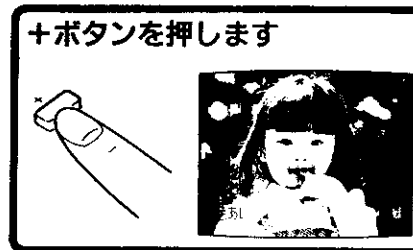
＋ボタンを押します

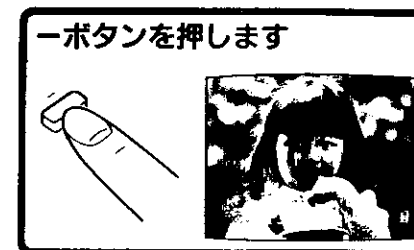
カーソルが「明」側へ動き，画面が明るくなります。

－ボタンを押します

カーソルが「暗」側へ動き，画面が暗くなります。

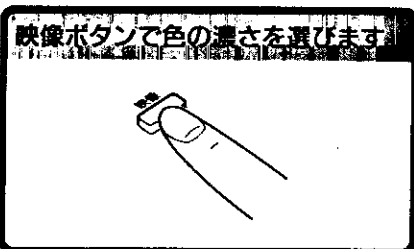
色あい

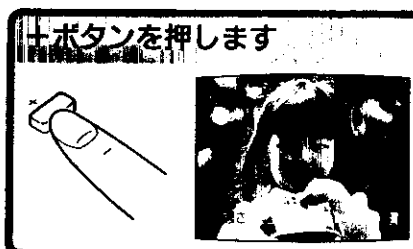
映像ボタンで色あいを選びます

画面に表示がでます。

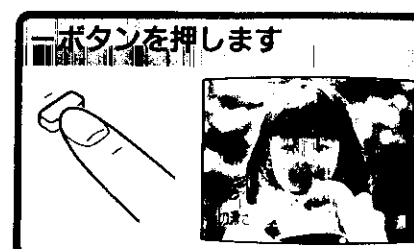
＋ボタンを押します

カーソルが「緑」側へ動き，画面が緑っぽくなります。

－ボタンを押します

カーソルが「赤」側へ動き，画面が赤っぽくなります。

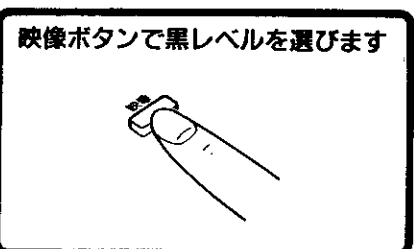
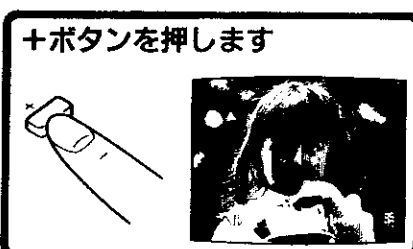
■色の濃さ

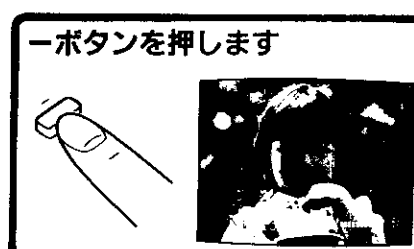
映像ボタンで色の濃さを選びます

画面に表示がでます。

＋ボタンを押します

カーソルが「濃」側へ動き，画面の色が濃くなります。

－ボタンを押します

カーソルが「淡」側へ動き，画面の色が淡くなります。

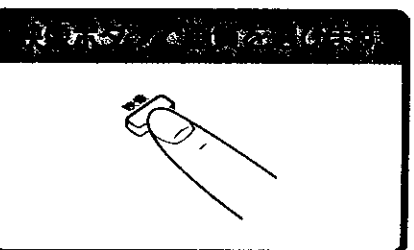
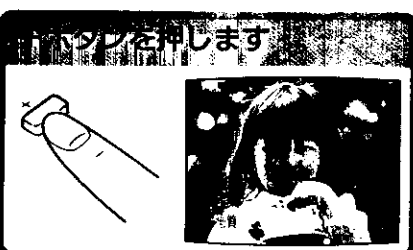
黒レベル（暗い部分の明るさを調節します。）

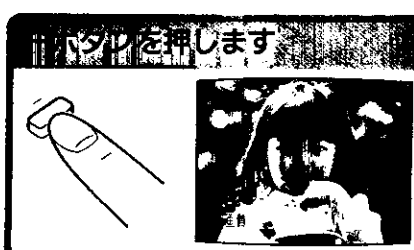
映像ボタンで黒レベルを選びます

画面に表示がでます。

＋ボタンを押します

カーソルが「明」側へ動き，暗い部分の明るさを明るくします。

－ボタンを押します

カーソルが「暗」側へ動き，暗い部分の明るさを暗くします。

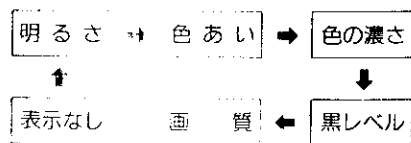
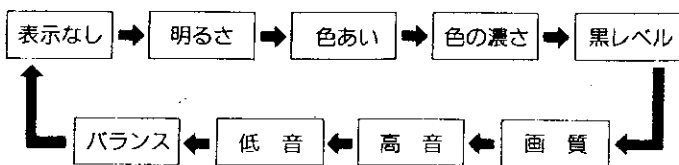
■画　質

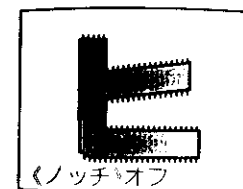
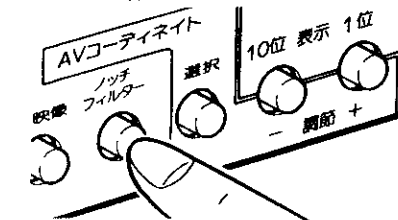
映像ボタンで画質を選びます

画面に表示がでます。

＋ボタンを押します

カーソルが「ハード」側へ動き，くっきりとした画質になります。

－ボタンを押します

カーソルが「ソフト」側へ動き，やわらかな画質になります。

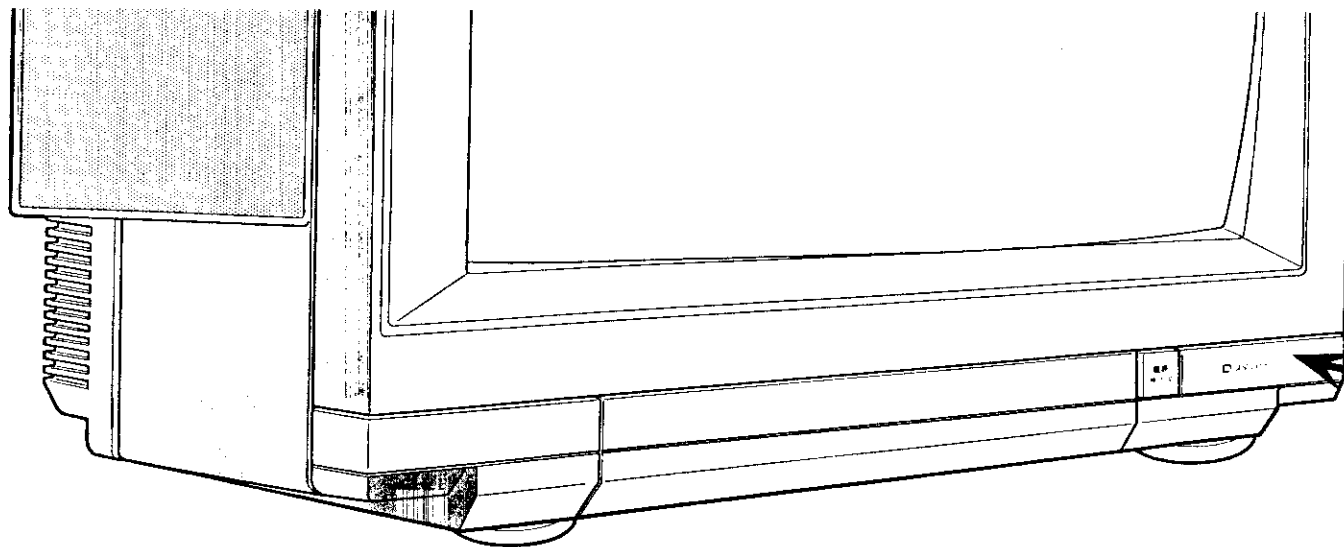
映像ボタンの使いかた

リモコンの映像ボタンを押すごとに，つぎの手順で映像の各調節ができます。

テレビ本体の選択ボタンを押した場合は，つぎの手順で各調節ができます。

ノッチフィルターボタンについて

ビデオ入力のパソコン使用時など，文字の周囲に点状のざらつきが出ることがあります。ノッチフィルターボタンを押してオンにするとざらつきが減少します。このとき，画面に表示でお知らせします。（ノッチフィルターボタンを押すと，現在の状態が表示されます。）表示中にもう一度ボタンを押すと，状態がかわります。

YNR〔映像ノイズリダクション〕の使いかた

受信する環境によっては、電波が弱い時等に画面にチラチラとノイズが目立つことがあります。
このようなときにはリモコンのYNRボタンを押すと，ノイズの少ない良質の画面を選ぶことができます。

YNRボタンを押します

《YNR》オン
YNRをオンしたとき

《YNR》オフ
YNRを解除したとき

YNRボタンを押すと現在の状態が表示されます。《YNR》オン、または《YNR》オフのいずれか表示中にもう一度押すと状態がかわります。「《YNR》オン」の表示で映像ノイズリダクションが働いた状態になります。ビデオディスクプレーヤーやビデオ使用時に生じる小さな点状の映像ノイズや，電波の弱いときに生じる画面のノイズを減少します。

AVメモリーの使いかた

ビジュアルコーディネイトで調節したお好みの画像と、オーディオコーディネイトで調節したお好みの音声を3つまでメモリーし、ご自由に呼び出すことができます。
ビジュアルコーディネイトとオーディオコーディネイト調節時には，標準ボタンを押しても3つのメモリーには標準値は設定されません。また，このときAVメモリーは解除されます。

例)画像(ビジュアルコーディネイト)の調節をメモリーするとき

AVメモリーボタンを押します

ボタンを押して《M-1》または《M-2》,《M-3》を選びます。

設定ボタンを押します

設定したい表示が画面にでます。

映像，または音声ボタンを押して，設定したい項目を選んでから+ーボタンを押し，お好みの位置に合わせます

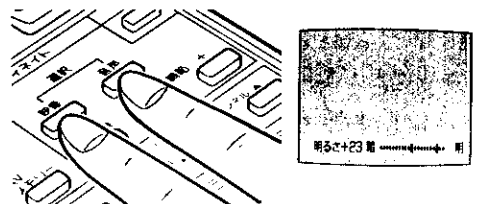
12,13,16ページを参考に，お好みの画像，音声に調節します。

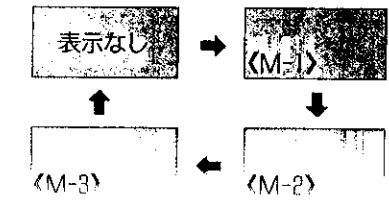
記憶ボタンを押します

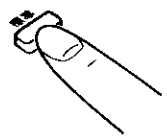
ボタンを押すと記憶が終了し，表示が消えます。

●工場出荷時，AVメモリーの内容は，M-1，M-2，M-3ともに，明るさ+31，その他0となっています。

画像，音声調節を確認したいとき

映像，または音声選択ボタンを押します。
画面を確認したい内容がでます。

AVメモリーボタンの使いかた

AVメモリーボタンを押すごとに，つぎの手順で記憶させたいメモリーの番号が選べます。

音声［オーディオ コーディネイト］の調節 （高音，低音，バランス）

リモコンの標準ボタンの使いかた

標準ボタンを押します

標準の音声にもどります。
(映像も標準状態にもどります。)

本体での調節

AVコーディネイト選択ボタン，調節ボタンを押します

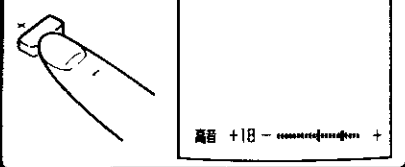
調節ボタン(＋，－)は，チャンネル番号表示ボタン(10位，1位)と兼用です。
また，本体の選択ボタンは映像と音声の選択が兼用です。

1 調節したい画面表示を選択ボタンで選びます。
2 ＋，－ボタンでお好みの音声に調節します。

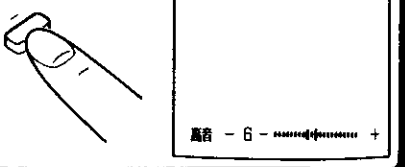
リモコンでの調節

高　音

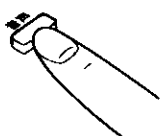
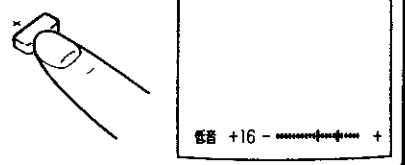
音声ボタンで高音を選びます

画面に表示がでます。

＋ボタンを押します

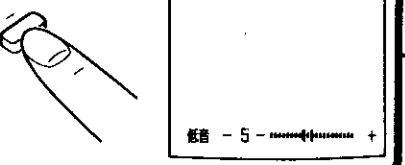
カーソルが「＋」側へ動き，高音が強調されて聞こえます。

－ボタンを押します

カーソルが「－」側へ動き，高音がおさえられて聞こえます。

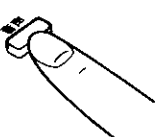
低　音

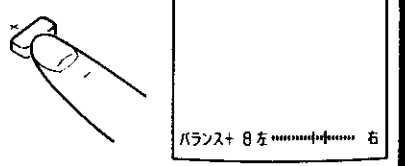
音声ボタンで低音を選びます

画面に表示がでます。

＋ボタンを押します

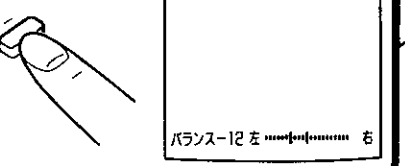
カーソルが「＋」側へ動き，低音が強調されて聞こえます。

－ボタンを押します

カーソルが「－」側へ動き，低音がおさえられて聞こえます。

バランス

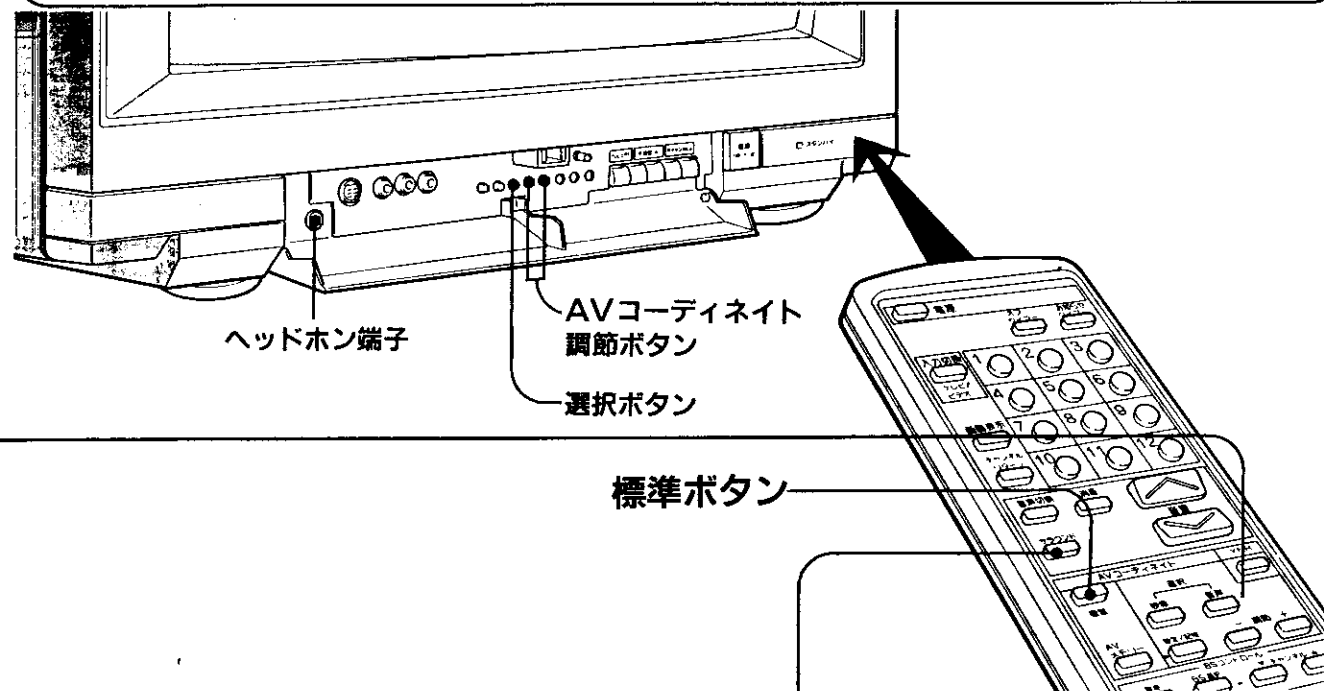
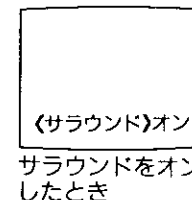
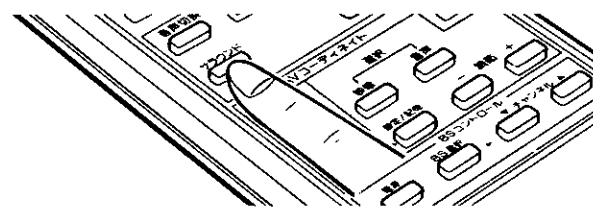
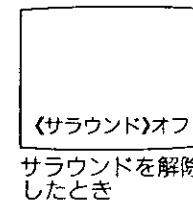
音声ボタンでバランスを選びます

画面に表示がでます。

＋ボタンを押します

カーソルが「右」側へ動き，右スピーカーの音が強調されて聞こえます。

－ボタンを押します

カーソルが「左」側へ動き，左スピーカーの音が強調されて聞こえます。

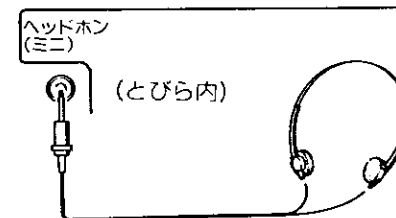
AVコーディネイト(音声)ボタンの使いかた

リモコンの音声ボタンを押すごとに，つぎの手順で各調節の画面表示が切換わります。
本体選択ボタンでの手順は12ページをご覧ください。

サラウンドを楽しみたいとき

サラウンドボタンを押します

《サラウンド》オン
サラウンドをオンしたとき

《サラウンド》オフ
サラウンドを解除したとき

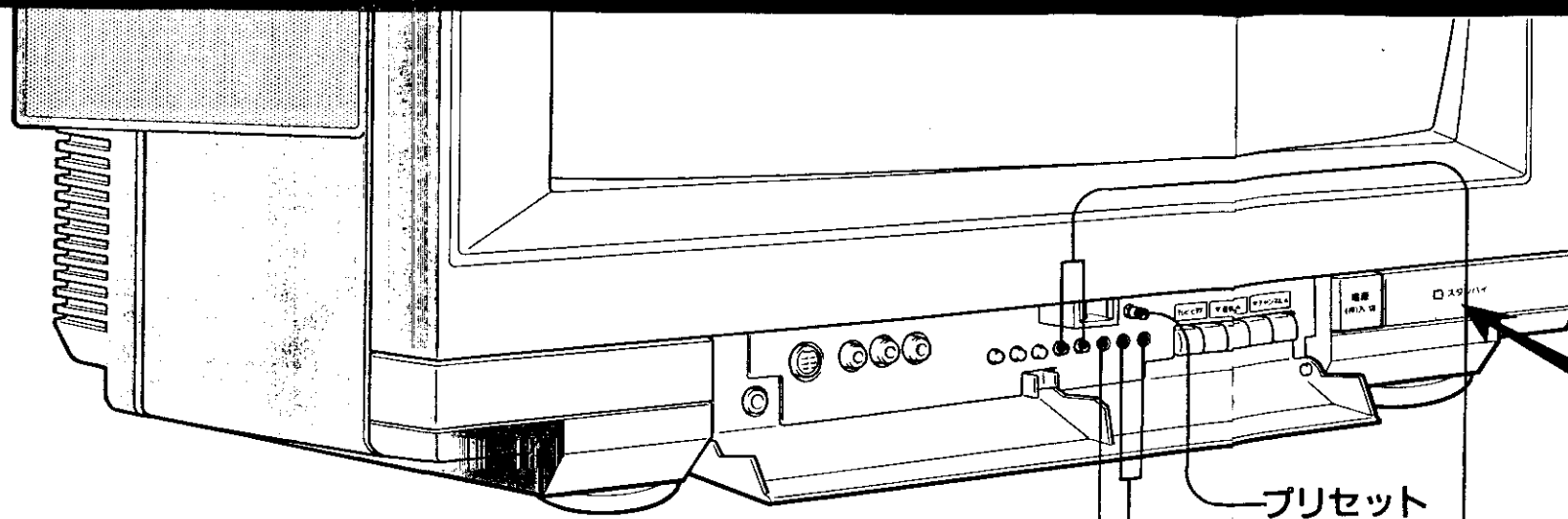
サラウンドボタンを押すと，現在の状態が表示されます。画面に「《サラウンド》オン」の表示が出ますとサラウンド効果が得られます。もう一度押すと「《サラウンド》オフ」になり，普通の音声にもどります。

ヘッドホン(ミニ)端子の使いかた

ヘッドホン端子に別売りのミニプラグのヘッドホンをつなぐと，スピーカーの音が消えて，ヘッドホンだけで聞くことができます。

サラウンドボタンについて

- サラウンドはテレビ放送やビデオ，ビデオディスクの音声がステレオのときご使用ください。
- ステレオ放送時雑音が多いとき，サラウンドをオンにすると雑音が強調されて聞こえる場合があります。このようなときにはAVコーディネイトで高音を－側にするか，またはサラウンドをオフにしてください。
- ステレオ放送時，音声切換ボタンによりモノラル状態になっているとき，またはモノラル放送時はサラウンドの効果はありません。

受信チャンネルの合わせかた

このテレビは工場出荷時には，リモコン選局ボタンの番号と同じく，VHFの1〜12チャンネルに設定されています。
UHF放送を受信する場合には，次の方法で設定しなおしてください。
同じ方法で，VHF，UHFとも受信できるチャンネルをお好みの配列に設定することもできます。

放送チャンネルについて
放送チャンネルはサテライト局等の関係で，地域によって実際の放送チャンネルが一般に呼んでいるチャンネルと違う場合があります。新聞の番組欄等で実際の放送チャンネルをお確かめください。

ここでは，リモコンの5の位置にUHFの42チャンネルを設定する方法を例にして説明します。
（入力切換が「テレビ」になっていないと，チャンネル設定はできません）

1 リモコンの選局ボタンで「5」を押します

あるいは，本体の選局ボタンを押して「5」を表示させます。

2 チャンネル設定ボタンを押します

画面表示をUHFに合わせます。

下図を参照してください。

3 同調ボタンを押して選局します

42チャンネルの放送に変えます。

画面下の同調バーの表示を見ながら，同調（▼・▲）ボタンにより合わせます。
バーの数を同調の目安にご利用ください。
新聞等のテレビ番組表などで番組の確認をしながら行ってください。

4 チャンネル番号表示ボタンを押します

チャンネル番号を42に変えます。

押すごとに次のように数字が変わります。
10位……1→2→3……8→9→表示なし
1位……1→2→3……8→9→0

5 複数のチャンネルを変更する場合は

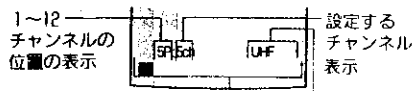
リモコンの選局ボタンで他のチャンネルを押し，1，3，4の順で操作をくり返します。

6 チャンネル設定ボタンを押します

設定が完了します。

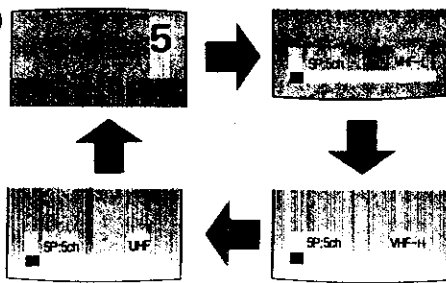
画面は通常の受信状態にもどります。

画面表示について

受信チャンネル変更時の各画面表示は，次のような内容を示します。

チャンネル設定ボタンの使いかた

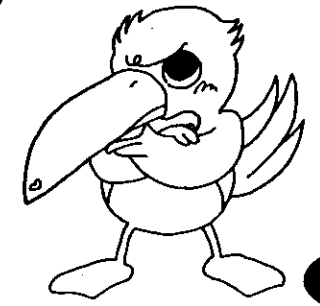
チャンネル設定ボタンを押すごとに，つぎのように画面表示します。

VHF：L　1〜3チャンネル
VHF：H　4〜12チャンネル
UHF　13〜62チャンネル

（通常）

微調について

通常はAFS回路が働いて自動的に最良点に同調されています。
電波状態によって同調を少しずらしたほうが見やすくなる場合には，つぎの手順で見やすい画像に微調してください。

1. 設定ボタンを通常にしておきます。
2. 微調ボタン（▼・▲）を押し，見やすい画像に合わせます。

外部機器との接続

このテレビはビデオ機器，オーディオ機器の入・出力端子を備えていますので，幅広い使い方が考えられます。
接続例を参考に，お手持ちの機器と組合わせてお楽しみください。

後面端子の説明

ビデオ1.2.3入力端子

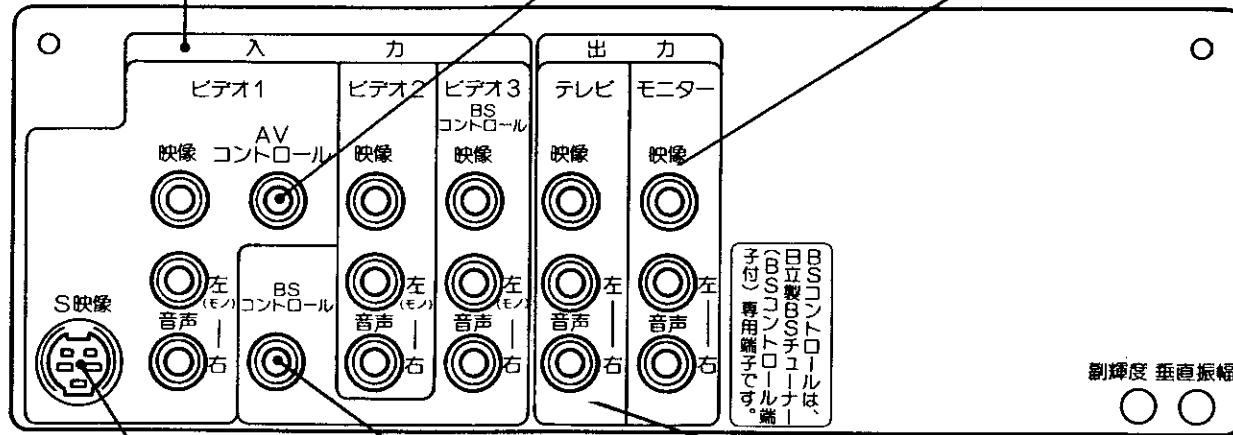
ビデオやビデオディスクなどの再生したい機器をつなぎます。音声「左」入力端子はモノラル入力になっており，外部機器の音声がモノラルの場合この端子を使うと，左右のスピーカーから音が出ます。
ビデオ3入力端子はBSコントロール端子と連動です。

AVコントロール入力端子

AVコントロール出力端子つきの外部機器と接続することにより，ビデオ1入力を制御できます。
（AVコントロール出力以外は接続しないでください。）

モニター出力端子

画面に映し出されているものと同じ信号が出力されます。
ビデオ1受信時，S映像入力からの信号は出力されません。
（チャンネル，音量，AVコーディネイト等の画面表示は出力されません。）

入力　出力
ビデオ1　ビデオ2　ビデオ3 BSコントロール　テレビ　モニター
映像　AVコントロール　映像　映像　映像　映像
S映像　音声　左(モノ)　右　BSコントロール
BSコントロールは、日立製BSチューナー（BSコントロール端子付）専用端子です。
副輝度　垂直振幅

S映像入力端子

S-VHSビデオ等を接続します。
S映像入力端子は「ビデオ1」の入力端子と兼用です。
（詳しくは22ページならびに外部機器の取扱説明書をご覧ください。）

BSコントロール端子

BSチューナー接続時，チューナーのテレビ用BSコントロール端子とつなぐことにより，ビデオ3入力を制御できます。
（BSコントロール端子以外は接続しないでください。）

テレビ出力端子

文字放送等を受信するときに使います。
画面にビデオなどの画像が映っていても，いつもテレビの映像と音声が出力されています。
TinT付ビデオにも接続できます。

前面端子の説明

S映像入力端子

S-VHSビデオ等を接続します。
S映像入力端子は「ビデオ1」の入力端子と兼用です。
（詳しくは下段接続例，ならびに外部機器の取扱説明書をご覧ください。）
S映像を使うときは，とびら内のS映像／映像切換 ボタンで選択します。

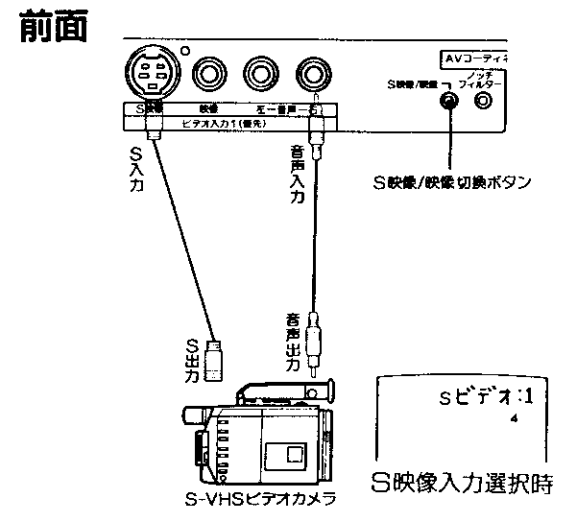
ビデオ1入力端子

接続コードの着脱が容易にできますので，ビデオカメラなどの接続をお勧めします。
前面優先端子ですので，後面端子(ビデオ1)に同時に外部機器を接続して使用する場合には，前面端子が優先されます。

S-VHSビデオカメラとの接続例

再生したいとき

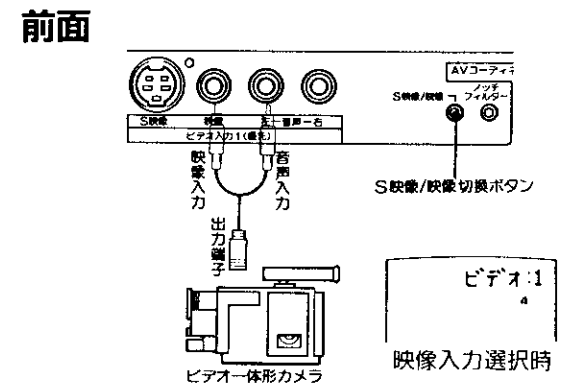
1. S-VHSビデオカメラとテレビを右図のように接続します。接続すると前面入力優先に切換わります。
2. リモコンまたは本体の入力切換ボタンを押して「ビデオ1」にします。
3. とびら内のS映像／映像切換 ボタンを押して「S映像入力」を選択します。
4. ビデオを再生状態にします。

前面

ビデオカメラとの接続例

再生したいとき

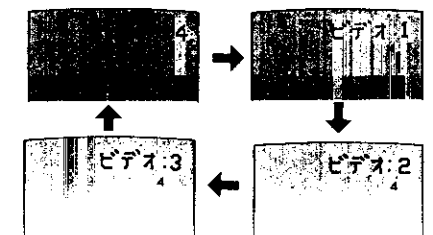
1. ビデオカメラとテレビを右図のように接続します。接続すると前面入力優先に切換わります。
2. リモコンまたは本体の入力切換ボタンを押して「ビデオ1」にします。
3. とびら内のS映像／映像切換ボタンを押して「映像入力」を選択します。
4. ビデオを再生状態にします。

前面入力端子にはモノラル専用入力はありません。

前面

前面端子優先機能について

- ビデオ1入力およびS映像入力端子は，前面および後面にそれぞれ装備されています。
- 前面端子と後面端子に同時に外部機器を接続して使用する場合には，前面端子が優先されます。
- 前面端子に接続するコードのプラグは完全に奥まで差込んでください。不完全の場合，再生画像が異常になることがあります。
- 後面端子を使用する場合には必ず前面端子のプラグを抜取ってください。プラグが差込まれていると再生できません。

入力切換について

リモコンまたは本体の入力切換ボタンを押すごとに，次のように切換わります。

外部機器との接続

ビデオとの接続例

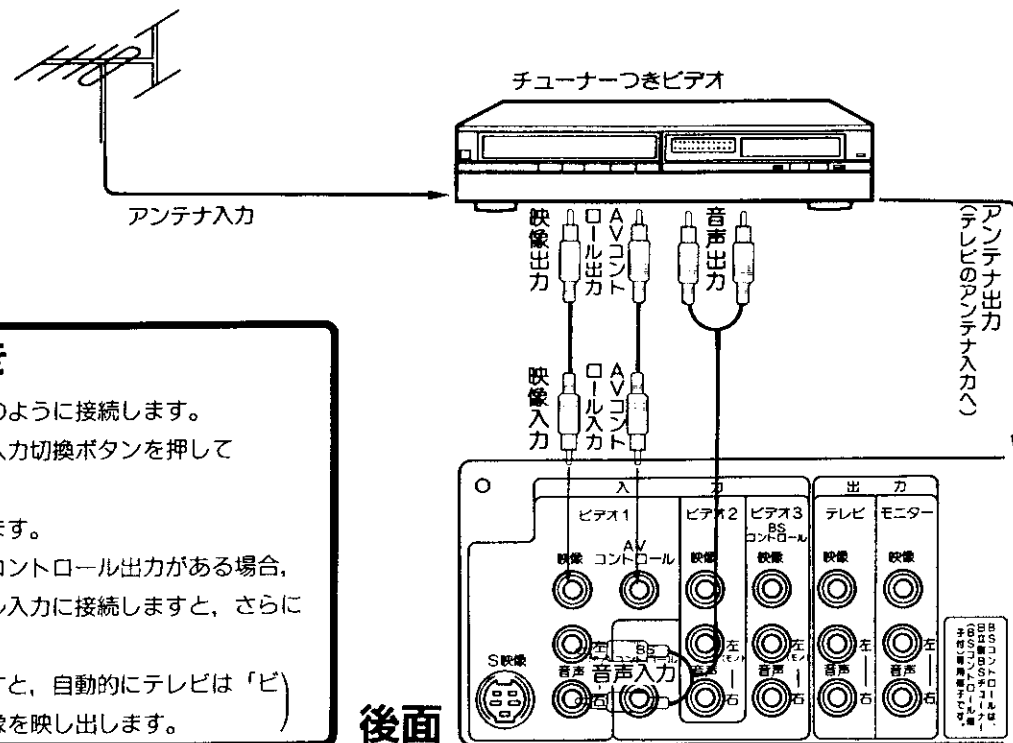
●外部機器と組合わせてご使用になるときにはそれぞれの取扱説明書をよくお読みになってください。

チューナーつきビデオ

アンテナ入力

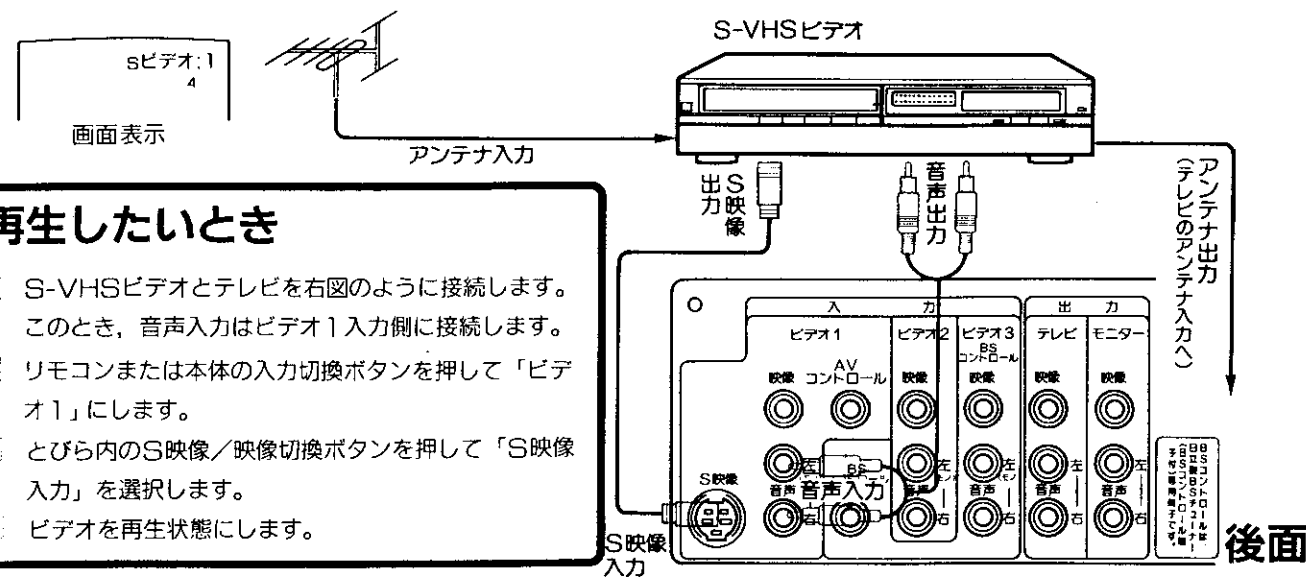
映像出力　AVコントロール出力　音声出力　アンテナ出力（テレビのアンテナ入力へ）

映像入力　AVコントロール入力　音声入力

後面

再生したいとき

1. ビデオとテレビを右図のように接続します。
2. リモコンまたは本体の入力切換ボタンを押して「ビデオ１」にします。
3. ビデオを再生状態にします。

●お手持ちのビデオにAVコントロール出力がある場合，テレビのAVコントロール入力に接続しますと，さらに操作が簡単になります。

（ビデオを再生状態にしますと，自動的にテレビは「ビデオ１」となり，再生画像を映し出します。）

S-VHSビデオとの接続例

再生したいとき

1. S-VHSビデオとテレビを右図のように接続します。このとき，音声入力はビデオ１入力側に接続します。
2. リモコンまたは本体の入力切換ボタンを押して「ビデオ１」にします。
3. とびら内のS映像／映像切換ボタンを押して「S映像入力」を選択します。
4. ビデオを再生状態にします。

S-VHSビデオとの接続について

●S映像入力端子接続の際，音声入力は必ずビデオ１入力側に接続してください。
ビデオ２，ビデオ３入力側に接続しても，音声は出力されません。

●ビデオ１入力側の映像端子と接続するときは，S映像入力端子に接続したコードは取りはずしてください。

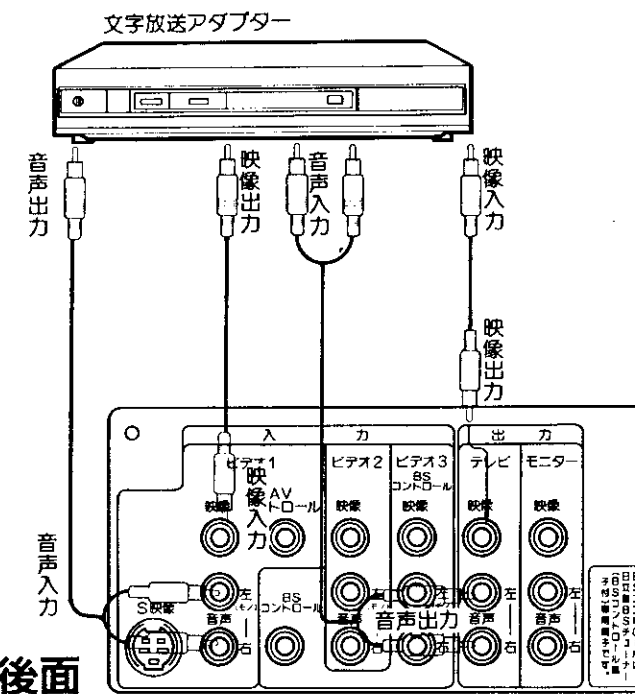
●S映像入力端子とビデオ１映像入力端子を同時に使用することはできません。

テレビの受信チャンネルについて

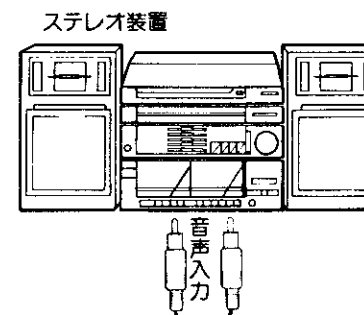
ビデオ１，ビデオ２，ビデオ３を選択しているときも，テレビの受信チャンネルを変えられます。

接続コードについて

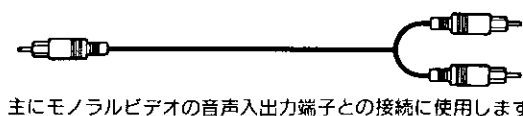
ビデオ，　オーディオ機器との接続の際に，右に示すコードが必要となります。お求めの販売店でお買い求めください。これらと同等のコードが相手側の機器に付属している場合には，新たに購入の必要はありません。

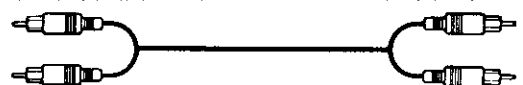
文字放送アダプターとの接続例

■ニュースや生活情報を楽しみたいとき

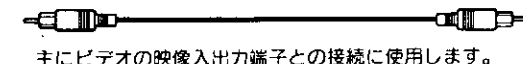
1. 文字放送アダプターとテレビを右図のように接続します。
2. リモコンまたは本体の入力切換ボタンを押して「ビデオ１」にします。
3. 文字放送アダプターを操作します。

ステレオとの接続例

■ステレオ装置で迫力ある音を聴きたいとき

1. ステレオ装置とテレビを右図のように接続します。
2. リモコンまたは本体の入力切換ボタンを押して，「ビデオ１，２，３」あるいは「テレビ」のいずれかご希望のものに入力を切換え，その端子に接続されている機器を作動させます。

●音声信号入出力接続コード　HPU-141 AV（コード長1.5m）

主にモノラルビデオの音声入出力端子との接続に使用します。

●音声信号出力接続コード　HPU-121（コード長1.5m）

主にHi-Fiビデオの音声入出力端子との接続，ステレオ装置との接続に使用します。

●映像信号入出力接続コード　HPU-131AV（コード長2m）

主にビデオの映像入出力端子との接続に使用します。

●映像・音声信号入出力接続コード　HPU-200AV（コード長2m）

主にHi-Fiビデオの映像・音声入出力端子との接続に使用します。

外部機器との接続・BSコントロールの使いかた

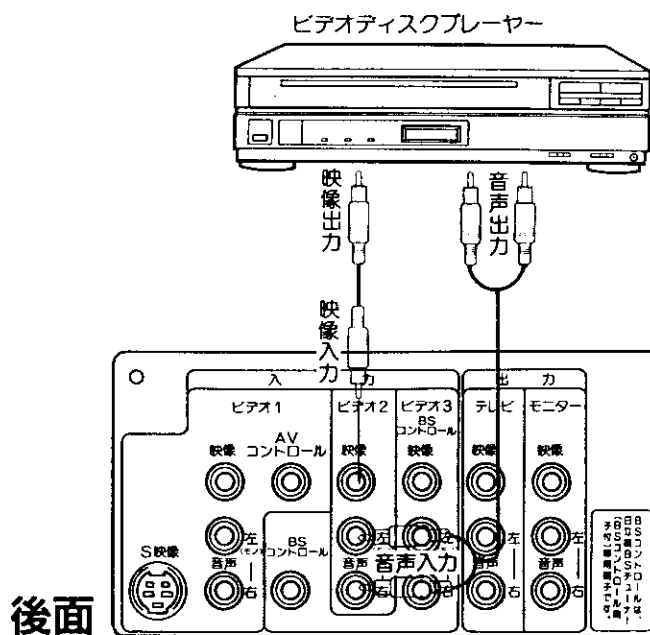
ビデオディスクプレーヤーとの接続例

■ビデオディスクプレーヤーを楽しみたいとき

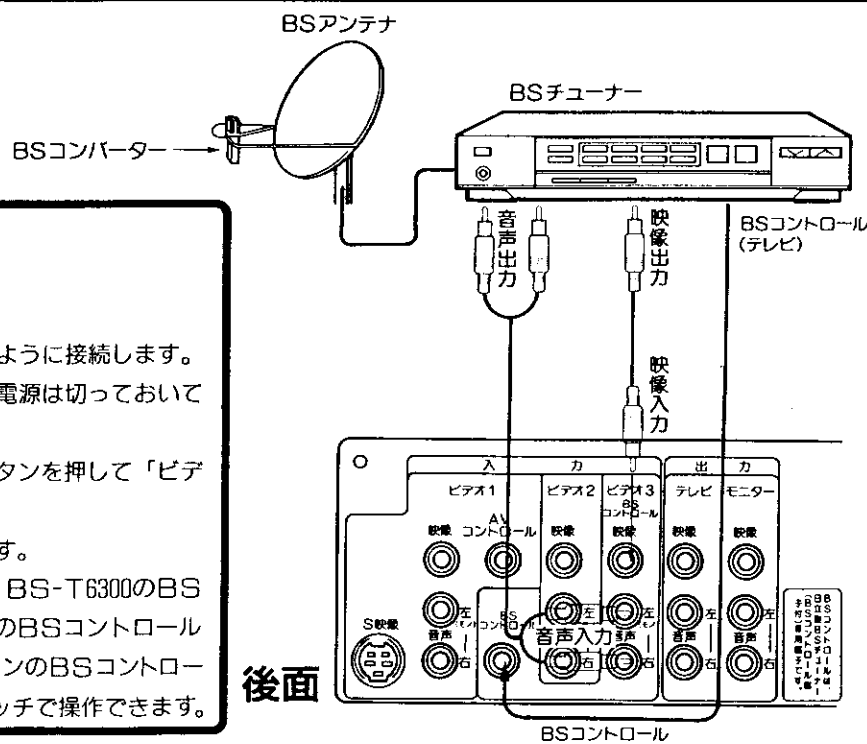
1. ビデオディスクプレーヤーとテレビを右図のように接続します。
2. リモコンまたは本体の入力切換ボタンを押して「ビデオ2」にします。
3. ビデオディスクプレーヤーを再生状態にします。

ビデオディスクプレーヤー
映像出力
音声出力
映像入力
後面

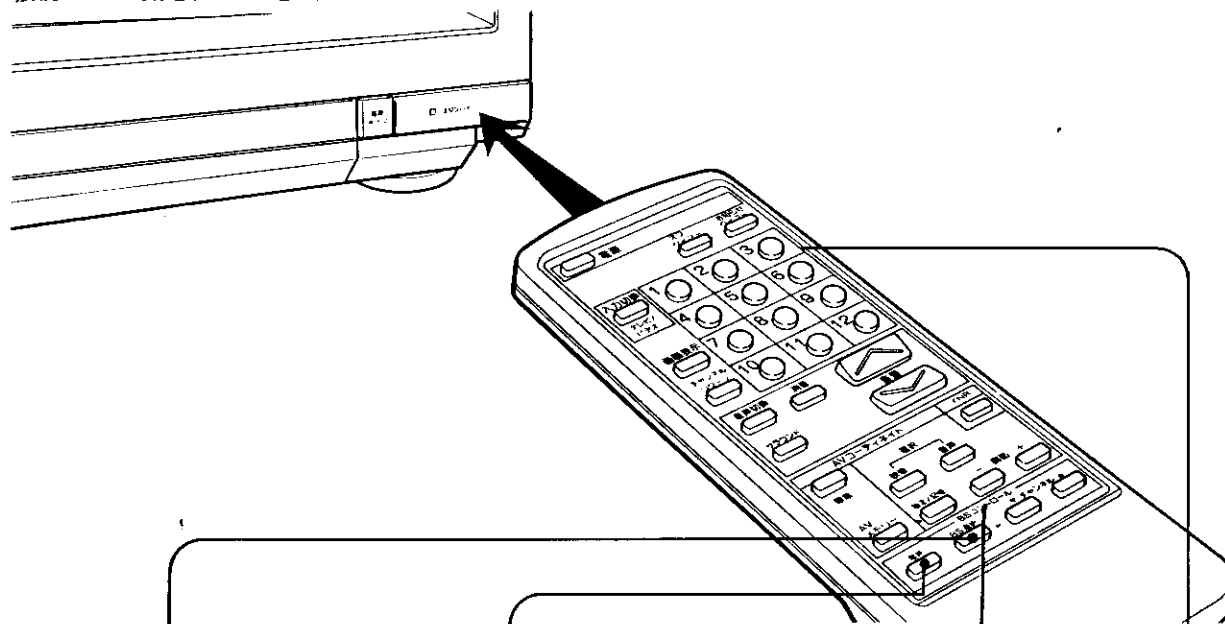
BSチューナーとの接続例

BSアンテナ
BSコンバーター
BSコントロール（テレビ）
音声出力

■BSチューナーを楽しみたいとき

1. BSチューナーとテレビを右図のように接続します。このとき，チューナーとテレビの電源は切っておいてください。
2. リモコンまたは本体の入力切換ボタンを押して「ビデオ3」にします。
3. BSチューナーを受信状態にします。
日立BSチューナーBS-T6200，BS-T6300のBSコントロール(テレビ)端子と本機のBSコントロール端子を接続すると，テレビのリモコンのBSコントロール部で，BSチューナーをワンタッチで操作できます。

後面

(BSコントロール端子について)
BSコントロール端子をご使用の場合は，BSチューナーにもBSコントロール端子が付いている場合のみです。
BSコントロール端子が付いていない場合の接続は，チューナーの取扱説明書をご覧ください。

(BSアンテナについて)
BSアンテナの設置は，お買い上げの販売店にご相談ください。

このテレビはBSコントロール端子を使用すると，BSチューナー用リモコンのBS1～BS15とテレビの1～12を直接選局でき，ワンタッチで画面が切換わります。
BSコントロールはBSコントロール端子付日立BSチューナー（BS-T6200，BS-T6300）と接続したときのみ有効です。BSコントロール付BSチューナーかどうかを確認してください。
ここでは例として，テレビのリモコンのみで操作する方法を示します。
接続については24ページをご覧ください。

1 BS選択ボタンを押します

BSチューナーの受信状態となります。

Bs

ビデオモードがビデオ3になり，図のような画面表示がでて，BSコントロールが動作していることを示します。

2 電源ボタンを押します

電源を入れます。

BSチューナーの電源を入れます。

3 BSチャンネルボタンを押します

BSチューナーのチャンネルが変わります。

BS 15

▲押す：BS1→BS3…BS15の方向に移ります。
▼押す：BS15→BS13…BS1の方向に移ります。
● 画面表示はBSチューナーの出力です。

4 テレビのチャンネルボタンを押します

テレビを見るときはご希望のチャンネルを押します。

4

再びBSのチャンネルを見るときはBS選択ボタンを押します。
（入力切換ボタン，チャンネル▲▼ボタンでテレビを選ぶこともできます。）

(操作について)
BSコントロールの電源ボタンを押したあと，チャンネルボタンを押すと，BSチューナーのチャンネルは切換わりますが，画面は変わりません。
あらかじめBS選択ボタンを操作しておいてください。

アンテナ線の接続

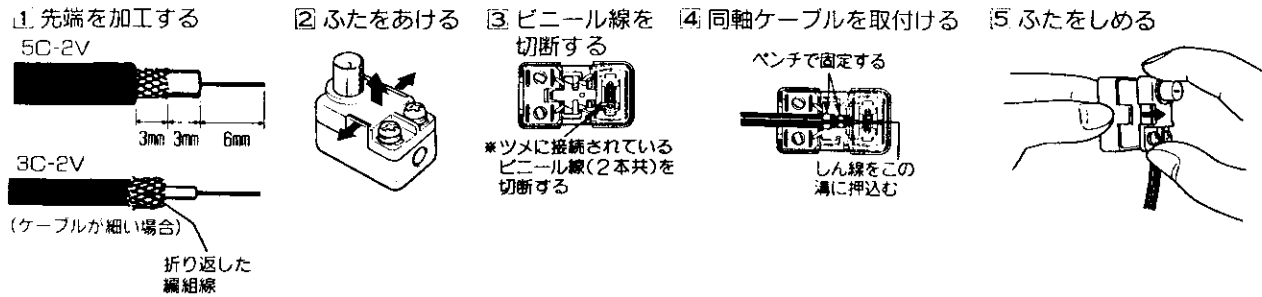
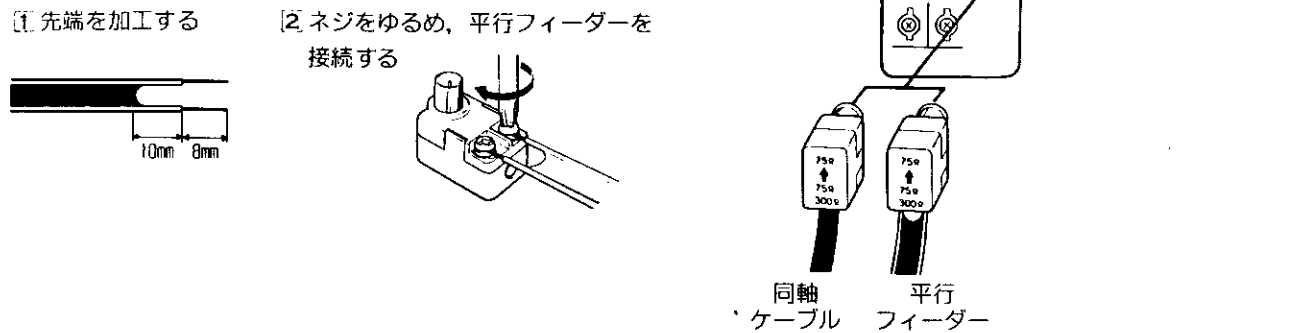
VHFアンテナ線の接続

付属のアンテナアダプターを用いて接続します。同軸ケーブル，またはVHF平行フィーダーをご使用ください。
(同軸ケーブルの方が妨害電波の影響を受けにくく，良好な画像が得られます。)

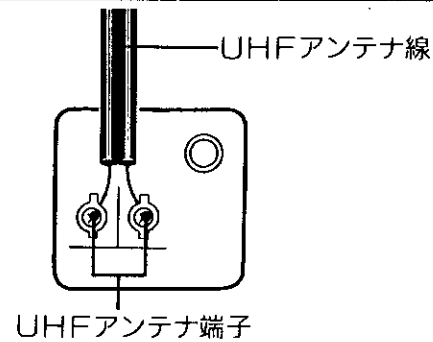
同軸ケーブルの準備

1 先端を加工する　2 ふたをあける　3 ビニール線を切断する　4 同軸ケーブルを取付ける　5 ふたをしめる

平行フィーダーの準備

1 先端を加工する　2 ネジをゆるめ，平行フィーダーを接続する

UHFアンテナ線の接続

UHF専用のアンテナ線をご使用ください。
テレビのUHFアンテナ端子に直接接続します。

先端を加工する

(接続について)

●アンテナ端子板には一部UHFアンテナ端子が縦列のものもありますが，接続および操作方法には影響ありません。

●ビデオ，ビデオディスクプレーヤーへのアンテナ線の接続はビデオ，ビデオディスクプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

仕様

●本仕様は改良のため，予告なく変更することがあります。
●このテレビを使用できるのは日本国内のみで，外国では使用できません。
This television set can be used only in Japan.

項目	仕様
形名	C25-ST3/C25-ST3-1
ブラウン管	補強形25形110度偏向HSブラウン管
画面寸法	幅47.8×高さ36.3×対角59.0(cm) (テレビの形(25形等)は画面寸法を表すものではなく，ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。)
音声実用最大出力	3W+3W
スピーカー	6×13(cm)……2個
電源	AC100V 50･60Hz共用
消費電力	131W(待機時0.6W)
端子	映像入力端子………………3個 (1Vp-p75Ω不平衡)(ビデオ1前面優先) 音声入力端子(右)(左)……各3個 (435mVr.m.s(−5dBs)ハイインピーダンス) 映像出力端子………………2個 (1Vp-p75Ω不平衡) 音声出力端子(右)(左)……各2個 (142mr.m.s(−15dBs)ローインピーダンス400Hz，30%変調時) AVコントロール端子………………1個 (ビデオ1に連動) S映像入力端子………………………(前面)1個 (後面)1個 (前面優先) BSコントロール端子………………1個 (ビデオ3に連動) ヘッドホン端子…………………………1個
外形寸法	幅67.5×高さ51.5×奥行45.5(cm)
質量(重量)	30.0kg
付属品	リモコン送信機……………………1個 単3形乾電池………………………2個 VHFアンテナアダプター………1個